



合言葉



学校だより

「チーム中部中」

令和3年9月 1日

令和3年度 第5号

文責

平戸市立中部中学校

校長 甲斐田 彰

校訓

自主

規律

責任

学校教育目標

豊かな心情

確かな学力

たくましい心身



【長崎県民として】

8月9日（月）ふれあいセンターで平和祈念集会を実施しました。

原爆が投下された長崎や大空襲の被害を受けた佐世保に比べると、戦争による直接の被害が少なかった平戸では、平和に対する生徒たちの意識も今一つとなりがちです。そこで、同じ長崎県民として平和について考えを深めようと、各学年ごとに6月から平和学習を始めました。

1年生は、「長崎の平和」をテーマに原爆の威力や被害、今も後遺症の影響で苦しむ人々について学び、発表しました。

2年生は、「鉄血勤皇隊」や「ひめゆり学徒隊」として中学生まで戦争に参加した「沖縄戦」について学び、発表しました。

3年生は「世界の平和」をテーマに今も世界各地で起こっている紛争やテロ、対人地雷による被害などについて学び、どうすれば、真の平和を達成することができるのかを考え、発表しました。

最後に平和実行委員から「中部中学校平和宣言」と「ピースフラッグプロジェクト」を発表し、集会を閉会しました。

平和実行副委員長松永さんは「ベトナム戦争でまかれた枯葉剤の影響で体につながった状態で生まれた双子『ベトちゃんドクちゃん』のことを知りショックでした。こんなことが起こらないためにも平和は大切だと思います。」と語ってくれました。



【環境整備を進めます】

8月23日（月）体育館前の駐車場のラインの引き直しをしていただきました。これで、ずいぶん、駐車しやすくなると思います。



9月10日（金）はPTA親子除草作業の予定でしたが、感染症拡大防止のため延期とします。親子で汗を流す体験をすることで、生徒たちにもいい影響を与えると思いますので、実施の際はぜひご協力をお願いします。駐車場も止めやすくなりましたので、多くの方の参加を期待しています。

【大奮闘の相撲部】

相撲部は7月27日（火）に諫早市で行われた県中総体で準優勝し、8月10日（火）の九州大会に出場しました。

大会当日は、福岡県の久山町に九州各県から16校が集い、ぶつかり合いました。予選リーグは、佐賀県、熊本県、鹿児島県の代表と戦いました。さすがに九州大会のレベルは高く、残念ながら勝利することはできませんでしたが、力のこもった取組を見せてくれました。

県大会から相撲部に合流した3年生の石田さんは「素早い動きができず悔しかった。でも、強い人と戦えたので、いい経験になった。」と九州大会を振り返ってくれました。



ところで、7月の「学校だより」で、猶興館高校と平戸高校について紹介しましたが、平戸市には、もう1つ北松農業高校があります。田平町に位置し、バスで50分ぐらいです。生物生産科と食品流通科と生活科学科があり、1年生から実習系の授業が多いです。進学が3分の1、就職が3分の2ぐらいで、令和2年度の進路実現率は、なんと100%でした。相撲部があることでも有名です。

【いよいよ2学期】

今年の夏は、猛暑からの大雨、長雨そしてコロナウィルス感染症の拡大で制限の多い夏となりました。部活動も8月20日からは中止となり、体を持て余してしまった生徒諸君も多かったのではと、申し訳なく思っています。

そんな中、3年生は午前中3時間の「夏休み学習会」に取り組みました。参加していた角田さんは「朝が弱くて家だと寝てしまうけど、教室だとみんなと一緒に頑張れます。」と力強く語ってくれました。



2学期最大の行事は文化祭です。現在のところ感染症対策を十分に行ったうえで、10月15日（金）に平戸市文化ホールで実施する予定です。なんとしても生徒たちの思い出に残る発表の場にするために、知恵を絞っていきたいと思います。

まだまだ、制限の多い日々が続きますが、少しずつ有意義な学習活動ができる2学期になることを信じて、準備を進めていきたいと思っています。